

国内		県内	
2日	<b>企業の経常利益 過去最大の35兆円</b> 2024年4～6月期の法人企業統計によると、金融・保険業を除く全産業の経常利益は前年同期比13.2%増の35兆7,680億円。四半期ベースでは過去最大。	2日	<b>男女賃金格差を指数化。本県は6番目に格差が小</b> 厚生労働省は都道府県別の男女賃金格差を初めて指数化して公表し、格差が最も大きいのは栃木、最小は高知だった。本県は全国で6番目に格差が小。
6日	<b>7月の景気動向指数、2カ月ぶり上昇</b> 内閣府によると、7月の景気動向指数(CI、2020年=100)は、景気の現状を示す一致指数が前月比3.0P上昇の117.1。上昇は2カ月ぶりで、基調判断は「下げ止まりを示している」と据え置き。	4日	<b>台風10号 県内農水産業被害甚大</b> 県は、台風10号による県内農水産業の被害状況を公表。被害は県内全域の農業用施設で約200件、野菜や飼料作物といった農作物への被害も計1,541ヘクタールに広がっている。
9日	<b>経常黒字、7月で過去最大の3.1兆円</b> 7月の国際収支統計(速報)で、モノやサービスなど海外との取引状況を示す経常収支は3兆1,930億円の黒字。前年同月比15.1%増となり、比較可能な1985年以降の7月としては過去最大。	10日	<b>県内漁業者30年間で6割減少</b> 九州農政局の2023年版「漁業センサス」(概数値)によると、県内で海面漁業を営む個人、団体の経営体数は812、漁業就業者数は1,996人で、いずれもこの30年間で約6割減少。
17日	<b>100歳以上の高齢者9万5,119人に54年連続増加</b> 厚生労働省は、全国の100歳以上の高齢者が過去最多の9万5,119人になったと発表。前年比2,980人増え54年連続で増加し、全体のうち女性が8万3,958人と88.3%を占めた。	10日	<b>青島の魅力 海外に発信</b> 宮崎市観光協会は、インバウンド(訪日客)向けに青島の魅力を発信するナイトタイムエコノミー事業を10、11月に5日間実施すると発表。地元食材の料理の提供、神楽鑑賞、書道体験を有料で行う。
17日	<b>基準地価 上昇率バブル後最大</b> 2024年の基準地価は全用途の全国平均が3年連続上昇。上昇率は1.4%で、バブル経済崩壊で大幅下落した1992年以降で最大。訪日客の増加や、円安による海外富裕層や投資家のマネー流入が影響。	11日	<b>全国焼酎メーカー売上高ランキング 霧島酒造12年連続首位</b> 帝国データバンク福岡支店によると、全国焼酎メーカーの2023年売上高ランキングは、霧島酒造(株)(都城市)が593億8,300万円で12年連続トップ。県内からは前年より2社多い7社が上位50社入り。
18日	<b>8月の訪日外客数293.3万人 同月で過去最高</b> 日本政府観光局(JNTO)によると、8月の訪日外客数は293万3,000人で、8月としては過去最高。前年同月比では36.0%増となり、7カ月連続で同月過去最高を記録。	17日	<b>県内基準地価 青島上昇率最大5.5%</b> 県が公表した7月1日時点の基準地価で、宮崎市青島の地価上昇率が昨年に引き続き県内最大の前年比5.5%増。好調な新規出店や移住者からの根強い人気要因。
20日	<b>8月の消費者物価指数 2.8%上昇</b> 8月の消費者物価指数(CPI、2020年=100)は、変動の大きい生鮮食品を除く総合指数が108.7となり、前年同月比2.8%上昇。コメやチョコレートなどの食料や電気代の上昇が要因。	25日	<b>本県人口、前年同月比1万180人減少</b> 本県の9月1日時点の推計人口は103万1,162人で、前月比879人減少、前年同月比では1万180人減少。市町村別の前年同月比では都城市が唯一、人口が増加した。
30日	<b>石破総裁就任 日経平均急落 前日比1,910円安</b> 自民党の石破茂総裁就任を受けた30日の東京株式市場では、日経平均株価が大幅反落し、前週末比1,910円安の3万7,919円。自民党総裁選後の初日の取引としては1990年以降最大の下落率となった。	26日	<b>ひなたフェス波及効果 2日間で5万6,000人来場</b> 宮崎市によると、「日向坂46」の野外イベント「ひなたフェス2024」が開催された7、8日の2日間で、同市・ひなた県総合運動公園に県内外から約5万6,000人が来場、うち約8割が県外客と推測される。